

歯科医学概論

コーディネーター : 教務委員長
 担当講座 (分野) : 歯学部専門教育担当教授、他

第1学年 前期・後期	講義	実習
	前期 後期	15.0時間 24時間

教育成果 (アウトカム)

歯科医学は医学領域の1つである。それ故、歯科医療を行う者は口腔領域に特化した歯科医学と同時に医学全般に普遍的な知識、技能、倫理観を修得することが求められる。それらを育成するためには問題抽出・解決能力に裏打ちされた自己開発能力が必要となる。さらに、歯科医師として社会貢献するためには、現在歯科医師に求められている社会的要請と、その要請に応えるための生涯学習、多職種連携をはじめとする基本的態度を身につけることが必須である。このため、初年度に歯科医学を構成する種々の概念を各専門分野の観点から多角的に学ぶことにより、歯科医学・医療の本質への到達に必要な学修プロセスを理解することができるようになる。

また、全人的医療基礎講義を通じ、医療人となるための幅広い教養の必要性、生涯学び続ける姿勢の重要性、他者の話を傾聴し、自分の考えを整理し論理的に表現することができるようになる。

(ディプロマポリシー : 1, 2, 3, 9)

事前学修内容及び事前学修時間

講義前に、各ユニットの到達目標に記されている「事前学習課題」について各自学習してくる。特に指定のない場合、到達目標に関連する事項について各自情報収集し、まとめておくこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は本科目の全授業 (ユニット) に対して該当する。

講義日程 (全人的医療基礎講義を含む)

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
4月12日(金) 3限	祖父江憲治学長 江尻正一教授 (教養教育センター)	【全人的医療基礎講義】 学長講義 創業者三田俊次郎が掲げた理想の医療、120年余の本学の歩み、そして6年間の学びのための心構えについて学ぶ。	1. 建学の精神理解し、全人的医療人としての自己イメージを具体的に形成することができる。 事前学習：シラバスに記載されている学則第1条第1項を読み、「誠の人間」について自分なりの考えをまとめておく。
4月17日(水) 3限	三浦廣行歯学部長	歯学概論 歯科医学が果たす役割と将来プロフェッショナルになるために身につける態度・知識・技能を理解する。	1. 歯科医学の領域と役割を説明できる。 2. 歯科医師の心構えを理解する。 [A-1-1)-①~⑥, A-1-2)-①~④, A-1-3)-①~⑤] 事前学習：岩手医科大学ホームページを参照し、歯学部の教育課程編成・実施方針、学位授与方針、入学者に関する受入方針について調べる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
5月22日(水) 3限	石崎 明教授 (研究推進委員長)	研究のこころ 生命科学の一分野としての歯科医学における研究の意義を理解すると共に、歯科医師にとって研究を通じて得られる科学的思考力の重要性について理解を深める。	1. 歯科医学における研究とその意義について説明できる。 2. 知識・技術と科学的思考力の関係について説明できる。 3. 歯科医師にとっての研究マインドについて説明できる。 [A-2-1)-①～⑤, A-2-2)-①～⑤, A-8-1)-①～③, A-9-1)-①～④] 事前学習：日本学術振興会ホームページ「研究公正」の項にある研究倫理教育教材「科学の健全な発展のために -誠実な科学者の心得-」の日本語版の「SECTION I 責任ある研究活動とは」を読んでおくこと。
5月29日(水) 3限	佐藤和朗教授 (歯科医療センター長)	歯科医療センターの役割 歯科医療センターの診療システムと歯学教育・地域医療における役割を学ぶことで、科目内で行われる早期体験実習に対応することができるようになる。	1. 歯科医療センターの診療システムの概略を説明できる。 2. 歯科医療センターの役割の概略を説明できる。 3. 歯科医療センターと地域医療システムとの関わりを説明できる。 [A-1-2)-①～④, A-1-3)-①～⑤, A-3-①～⑥, A-5-1)-①～⑥, A-7-1)-①～⑦]
5月31日(金) 4限	秋山正子特別講師 江尻正一教授 (教養教育センター)	【全人的医療基礎講義】 どんな時でも命は輝く～地域に拡がる看護の役割～ 長年の訪問看護で得た経験に基づき、在宅医療で求められる医療者の役割やホスピスマインドについて学ぶ。	1. 暮らしを支える多職種の連携について説明できる。 事前学習：地域で生活する療養者が抱える課題について自分なりの考えをまとめておく。
6月12日(水) 3限	岸 光男教授 (予防歯科学)	患者中心の医療と学生中心に教育 健康教育と医学教育の手法を比較することにより学習者主体の学修方法を理解することができる。	1. 患者中心の医療を概説する。 2. 学生中心の学習方法を概説する。 3. アクティブラーニングの方法を列挙できる。 [A-9-1)-①～④] 事前学習：「医療における社会・行動科学」第1章のCを読んでおくこと。
6月26日(水) 3限	米満正美非常勤講師	健康と歯科医療 ヒトの健康とは如何なるものか、健康にとって歯科医療の果たす役割について学ぶことで歯科医療の目標を包括的に理解することができる。	1. 健康の概念を理解する。 2. 健康を維持するために必要な事項について理解する。 3. ヒトの健康にとって歯科医療の果たす役割について理解する。 [B-1, B-2-2)-①～⑤, B-2-4)-①②] 事前学習：今までの自分の日常生活で健康にとって問題点が無かったか振り返り、あれば列挙しておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
7月10日(水) 3限	玉田泰嗣助教 (補綴・インプラント学)	高齢者の口腔機能 高齢期に生じる口腔機能の低下とその対応を学ぶことで超高齢社会における歯科医師の役割を理解することができる。	1. 高齢期に低下する口腔機能を列挙できる。 2. 摂食嚥下機能障害を概説できる。 3. 口腔衛生と口腔機能に対する介入の区別を説明できる。 [E-5-1)-⑧~⑩] 事前学習：介護施設や病棟にいる高齢者が食事をする際に起こり得る問題点を列挙しておく。
7月10日(水) 4限	千葉俊美教授 (関連医学分野)	超高齢社会の疾病構造 超高齢社会となった我が国の疾病構造の変化と医療が抱える問題を学ぶことで、全身管理や関連医学の重要性を理解することができる。	1. 超高齢社会が抱える諸問題を説明できる。 2. 我が国の疾病構造を説明できる。 3. 歯科医師として身につけなければならない医学知識を説明できる。 [E-6-①~④] ディスカッション方式の講義を行うことがある。 事前学習：超高齢社会に関する内容を講義資料および参考書で確認し講義に臨むこと。 事後学習：講義に関する内容をまとめること。
7月17日(水) 3限	佐々木勝忠非常勤講師	地域歯科医療とチーム医療 地域医療の一員としての地域歯科医院の役割を学ぶことで地域連携における歯科医師の役割を理解することができる。	1. 地域歯科医療の役割を説明できる。 2. 患者の全身・心理状態への配慮ができる。 3. 地域との連携を説明できる。 4. 他職種との連携の重要性を説明できる。 [A-7-1)-①~⑤] 事前学習：栄養評価と栄養処方についてインターネット等で調べ、まとめておくこと。
9月4日(水) 2限	佐藤保客員教授	地域包括ケアシステムと地域歯科医師会 地域包括ケアシステムにおける歯科医師および地域歯科医師会の果たす役割を学ぶことで地域歯科医療の仕組みと意義を理解することができる。	1. 介護保険法の主な規定を列挙できる。 2. 地域包括ケアシステムを概説できる。 3. 地域包括ケアシステムにおける歯科医師の役割を列挙できる。 4. 地域包括ケアシステムへの地域歯科医師会の関与を概説できる。 [A-5-1)-①~④, A-7-1)-①~⑦]
9月11日(水) 4限	三浦廣行歯学部長	歯科医師としての基本的態度と習慣 専門職としての歯科医師の基本的態度と習慣、生涯学習について学ぶことで、歯科医師になるための学修態度に気づくことができる。	1. 専門職としての歯科医師の基本的態度について理解する。 2. 歯科医師としての習慣、生涯学習の意義について理解する。 3. 歯科医師としての基本的態度、習慣を身につけるための学習方法を理解する。 [A-1-2)-①~④, A-4-1)-①②] 事前学習：岩手医科大学ホームページを参照し、歯学部の教育課程編成・実施方針、学位授与方針、入学者に関する受入方針について調べる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月18日(水) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	インフォームド・コンセント インフォームド・コンセントについて学ぶことで患者、高齢者の権利と専門家による自己決定への支援について理解することができる。	1. インフォームド・コンセントを説明できる。 2. インフォームド・コンセントに際して、歯科医師が行うべきことを説明できる。 3. インフォームド・コンセントの重要性を説明できる。 4. インフォームド・コンセントが不十分な際に生ずることを説明できる。 [A-1-2)-①～④] 講義中に歯科医師役、患者役としてインフォームド・コンセントについてのシミュレーション実習を行う。 事前学習：インフォームド・コンセントについて書籍、インターネット等で調べて講義に臨むこと。口頭でプレゼンテーションの機会を設ける。
9月20日(金) 4限	川田龍平客員教授 江尻正一教授 (教養教育センター)	【全人的医療基礎講義】薬害を考える ーいのちが守られる社会の実現のためにー 薬害エイズ訴訟原告としての実体験に基づき、「いのちを守る社会」を実現するための医療者の責任を学ぶ。	1. 薬害が発生するにいたる経緯を理解し、医療者の責任を説明できる。 事前学習：薬害エイズ事件について調べる。
10月2日(水) 2限	八重柏隆教授 (歯周療法学)	看護・介護体験実習について 看護・介護体験実習の意義について実習前に学ぶことで早期体験実習の精神的準備ができ、成果を高めることができる。	1. 看護、介護の実際を知る。 2. 患者さんや介護施設入所者の不安や苦しみを感じる。 3. 医師、歯科医師、看護師によるチーム医療を知る。 4. 高齢者、介護施設入所者に対する医療、社会保障の問題を考える。 [A-4-1)-①②, A-4-2)-①～⑦, A-5-1)-①～③, G-4-①～③] 事前学習：「入院と看護」「高齢者と介護」について、必要なこと、大切なことをまとめること。
10月9日(水) 2限	阿部晶子准教授 (予防歯科学)	看護・介護における口腔衛生の意義 看護・介護における口腔衛生の意義を学ぶことで高齢者・周術期の口腔管理の重要性を理解することができる。	1. 高齢者、障害者における口腔衛生の意義を理解する。 2. 看護、介護施設における口腔衛生の実際を理解する。 3. チーム看護、介護における歯科医師の役割を理解する。 [E-5-1)-③, ④] 事前学習：高齢者・障害者の口腔内の特徴を教科書等で学習してくる。また、手術をうける患者、がん治療をうける患者への口腔管理の必要性を学習してくる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月11日 (金) 4限	会田薫子特別講師 江尻正一教授 (教養教育センター)	【全人的医療基礎講義】長寿 社会のエンドオブライフ・ケ ア 終末期の医療的介入に関する 諸問題を学ぶ事で医療従事者 に求められる死生観について 学ぶ。	1. 終末期の医療的介入の問題点を列挙で きる。 2. 終末期患者とその家族の QOL に配慮す るようになる。 3. 医療におけるリスクベネフィットを説 明できる。 事前学習：宮沢賢治の詩「永訣の朝」を 読み、「あめゆじゆ」について感想を書く。
10月30日 (水) 2限	千葉俊美教授 (関連医学分野)	歯科医師に必要な医学的知識 歯科治療が必要な患者が有す る可能性のある疾患等を学ぶ ことで歯科治療を行う上で全 身状態に注意できるようになる。	1. 主要な医科疾患の症候を説明できる。 2. 主要な身体診察を説明できる。 3. 妊娠時の管理に必要な基礎知識を説 明できる。 4. 小児の代表的な疾患を説明できる。 [E-6-①～④] 事前学習：歯科と医科の関わり及び連携に ついてインターネット等で調べること。
10月31日 (木) 5限	諏訪部章教授 (臨床検査医学)	歯科医療における臨床検査の 意義 医科疾患の主要な検査を学ぶ ことで医科との連携に役立て ることができる。	1. 歯科診療における臨床検査の位置づ けと重要性について概略を述べるこ とができる。 2. 歯科医師とその他の医療従事者(臨床 検査技師を含む)の役割について述べ ることができる。 [E-1-3)-①～⑤]
11月6日(水) 2限	佐藤健一教授 (歯科麻酔学)	救急蘇生法 救急蘇生について学ぶことで その意義を理解し、最低限の 蘇生処置ができるようになる。	1. 患者の意識を確認できる。 2. 気道の確保ができる。 3. 口対口の人工呼吸ができる。 4. 体外式心マッサージができる。 5. AED を操作できる。 [E-1-6)-②] 救急蘇生の実習を行う。動きやすい服装 で受講すること。 事前学習：救急蘇生法、特に1次救命処 置について書籍、インターネット等であ らかじめ調べて講義に臨むこと。
11月12日 (火) 4限	中村千賀子非常勤 講師	コミュニケーションの基本講 習 コミュニケーションの基本を 学ぶことで歯科医師にとって 必要なコミュニケーション能 力についての理解することができる。	1. プロフェッションを理解できる。 2. 医療の使命について説明できる。 3. コミュニケーションを理解し、実施で きる。 4. 自己紹介ができる。 5. 体験学習の目標を理解できる。 [A-4-1)-①②, A-4-2)-①～⑦] 事前学習：「健康と病いの語り ディペッ クス・ジャパン」の HP (www.dipex-j.org) の「語り」をいくつか視聴し、病気を 得た人が考えること、感じるこ と、希望することなどについて、あ らかじめ画面を見て、語りを聞いておくこと。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
11月20日 (水) 2限	工藤義之准教授 (う蝕治療学)	患者情報の収集 メディカルインタビュースキルを学ぶことで歯科医療における患者情報収集の重要性を理解できるようになる。	1. コミュニケーション技法を列挙できる。 2. 歯科医療に必要な患者情報を列挙できる。 3. 個人情報の管理に配慮する。 4. コミュニケーション能力向上に向けた取組みを列挙できる。 [A-4-1)-①②, A-4-2)-①～⑦] 事前学習：患者情報の収集について書籍、インターネット等で調べて講義に臨むこと。口頭でプレゼンテーションの機会を設ける。
11月25日 (月) 1限	櫻井滋教授 (睡眠医療学科)	歯科領域における災害医療の意義 医療関連感染	1. 災害医療について理解する。 2. 災害医療における歯科医療の意義について理解する。 [A-7-1)-⑥, B-2-2)-⑨] 1. 医療関連感染を概説する。 2. 医療関連感染対策を列挙できる。 3. 歯科医師の職業性感染リスクを列挙できる。
12月4日(水) 2限	藤澤美穂助教 (心理学・行動科学分野)	ストレスマネジメント (1) ストレスのメカニズムについて理解し、ストレスコーピングを行うことで良好な学修態度形成ができるようになる。	1. 心理的ストレスプロセスモデルについて説明できる。 2. ストレス反応について説明できる。 3. ストレスコーピングのバリエーションについて理解する。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：「心理学」の「ストレスの心理学」で学んだ内容を復習しておく。
12月11日 (水) 2限	遠藤寿一教授 (哲学分野)	医の倫理 生命倫理、医の倫理について学ぶことで、歯科医師としての倫理意識を深めることができる。	1. 医の倫理と生命倫理の歴史的経過と諸問題を概説できる。 2. 医の倫理に関する規範・国際規範(ヒポクラテスの誓い、ジュネーブ宣言、ヘルシンキ宣言)を概説できる。 3. 生と死に関わる倫理的問題を説明できる。 [A-1-1)-①～⑥] 事前学習：生命倫理の教科書『医学生のための生命倫理』第3章(p63～79)を読了しておく。
12月18日 (水) 2限	藤澤美穂助教 (心理学・行動科学分野)	ストレスマネジメント (2) 自分自身についての理解を促進するとともに、ストレスマネジメント概念の理解を通し、セルフコントロールへの意識を高めることができる。	1. ストレスマネジメント教育の一次予防的意義について説明できる。 2. 学生生活サイクルを理解する。 3. セルフコントロールの手がかりをつかむことができる。 [A-2-1)-①～⑤] 事前学習：学生生活上のストレスとそれに対するコーピングについて、自分のこれまでの生活を振り返り、まとめてくる。

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
1月8日(水) 2限	佐藤和朗教授 (教育部門長)	歯科医師になるために学ぶこと 科目全体を振り返ることで歯科医師となるためには何を学び、何を身につけなければならないかについての理解が深まる。	1. 歯学部における講義・実習で身につけるべきことについて説明できる。 2. 倫理と知識・技術の関係について説明できる。 3. 歯科医師にとっての生涯研修について説明できる。 4. 歯科医師になるためのロードマップを理解する。 5. 各学年で身につけるべき知識・技術について理解する。 6. 自学自習の重要性を理解する。 [A-9-1)-①～④]

教育成果（アウトカム）（看護・介護体験実習）

本学歯学部での特色ある教育プログラムの一つである「学外連携教育プログラム」のユニットとして、学外施設との連携のもと、看護・介護体験実習を実施する。この実習を通して、全人的な観点からみた歯科医療の意義について理解する。

実習日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
10月15日(火)～ 25日(金) 終日	附属病院病棟	看護体験実習	看護の現状を知り、看護に必要な態度と知識を身につける。
10月15日(火)～ 25日(金) 終日	各介護施設	介護体験実習	介護の現状を知り、介護に必要な態度と知識を身につける。
11月8日(金) 2～4時限	介護体験実習担当教員	看護・介護体験実習発表会	看護・介護体験実習を通して真何度事をまとめ、今後の勉学にどのようにつなげるかを発表出来る。

教科書・参考書（教：教科書 参：参考書 推：推薦図書）

	書 名	著者氏名	発行所	発行年
参	デンタル・エシックスー歯科の倫理問題	ジェームス・T. ルール, ロバート・M. ヴィーチ 著, 柳沢有吾 翻訳	クインテッセンス出版	2001年
参	口腔の病気と全身の健康	田中健蔵、北村憲司 監修	福岡歯科大学	2011年
参	スタンダード社会歯科学第6版	石井拓男・尾崎哲則・平田創一郎・平田幸夫 編著 檜則章・瀬川洋・日高勝美・福田雅臣・藤井一維・俣木志朗・山本龍生 著	学建書院	2016年
参	医療格差	川田龍平	角川書店	2011年
参	高齢者ケアと人工栄養を考える —本人・家族のための意思決定プロセスノート—	清水哲郎・会田薫子	医学と看護社	2015年

参	延命医療と臨床現場 －人工呼吸器と胃ろうの医療倫理学－	会田薫子	東京大学出版会	2011年
推	なぜこの国は被害者を守らないのか	川田龍平	PHP	2013年
推	沈みゆく大国アメリカ<逃げ切れ!日本の医療>	堤未果	集英社	2015年
推	人はなぜ、同じ過ちを繰り返すのか?	佐治晴夫×堤未果	清流出版	2012年

成績評価方法

講義：講義（ユニット）毎に提出するレポートより評価する。レポートは得点化し、全講義の平均点を講義の評価点とする。レポートは採点後にコメントを付して返却する。

実習：実習態度と発表会プレゼンテーションにより評価する。

1. 実習態度：施設からの評価シートにより得点化する。実習評価の80%を占める。
2. 発表会プレゼンテーション：プレゼンテーションを複数の教員が得点化してその平均点を評価点とする。実習評価の20%を占める。

講義、実習のいずれもが合格点に達することが必要。本科目の最終評価点は講義50%、実習50%として算出する。

特記事項・その他

レポート提出は原則としてWebClassを使用するので使用法を確認しておくこと。

それ以外の場合は各ユニット責任者の指示に従うこと。

事前学習結果の確認のため講義・演習中に適宜口頭で質問するので回答の準備をしておくこと。得られた回答に関しては教員がその場でコメントしてフィードバックする。

全人的医療基礎講義では、専門職連携教育(Inter Professional Education)の一環として、医学・歯学・薬学を志す学生に共通して求められる人間性を養うために、医歯薬3学部の学生が合同で、多方面の分野について学修する。誠の医療人を目指す初年次学生として、人格を陶冶するための幅広い教養を身につけるとともに、自分の専門領域をより広い視野で理解するための柔軟な思考力、深い洞察力をはぐくむ。傾聴した内容を整理し自己の考えをまとめるレポートを作成し、論理的な思考力と表現力の向上をはかる。

また、「いわて高等教育コンソーシアム」の加盟大学（岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学、富士大学、一関工業高等専門学校、放送大学）に講義動画を配信し、県内で学ぶ学生に対する教養教育・社会教育の一助とする。

授業に使用する機械・器具と使用目的

使用機器・器具等の名称・規格	台数	使用区分	使用目的
デスクトップパソコン ProDesk400一式	G4 SF/CT 1	基礎実習・研究用機器	講義・実習配布資料作成